

JA士幌町と組合員がつくる情報誌

ユートピアしほろ

SHIHORO

12月号
No.635

ユートピアしほろ



目次

- 2 しほろ収穫祭
- 3 女性部版 収穫祭／青年部版 収穫祭
- 4 青年部版 とかち農業・絆プロジェクト／青年部版 農業空容器回収
- 5 北海道枝肉共励会／酪農振興協議会家族交流会
- 6 東野ひでき氏を励ます会／ジェネティクス北海道黒毛和種枝肉共励会
- 7 営農点描／農業新聞からのお知らせ
- 12 人間ドックのお知らせ／厚生連からのお知らせ
- 13 JAグループ北海道の農政活動強化に向けて[第5回]
- 14 アスポお知らせ／アスポのオススメ／今月の運勢
- 15 クロスワードパズル
- 16 おすすめレシピ／篠原会長の動静／編集後記

JA士幌町のHPもチェック!



しほろじゃがいもまつり(9月15日道の駅ピア21しほろにて開催)

しほろポテサラゲランプリ! 最優秀賞 おつまみポテサラ



応募者からのメッセージ

居酒屋にも出てきそうな、つまみになるポテサラです。
おかずでもいけるけど、お酒に合う味付けにしてみました。

材料・レシピ

じゃがいも…………… 3個(350g)
ゆで卵…………… 2個
タマネギ…………… 1/2個(100g)
たくあん…………… 80g
ベーコン…………… 80g
にんにく…………… 1片5-6g ほど
マヨネーズ…………… 130g ほど
こしょう…………… 適量
和からし…………… 3g ほど
塩…………… 適量(味調整程度)
*好みで粉チーズ、粗挽き胡椒、青のり

①じゃがいもは皮を剥いて3～4cm角にカットして茹でるまたはレンジで柔らかくなるまで火を通す。
②ゆで卵を作る(硬さはお好み)
③タマネギはスライスして塩振りし、10分程置いて絞って水気をきる
④たくあんは5mm～1cm角くらいでカット、ベーコンも短冊に切る。にんにくは薄切りに
⑤にんにくとベーコンをフライパンで香ばしくなるくらいに炒めたら、火を通したじゃがいもを合わせ、軽く水分を飛ばす感じにする
⑥ボールに移し、タマネギ、たくあん、ゆで卵と合わせ、マヨネーズ、白胡椒、和からしを入れ混ぜ合わせる。(味の調整はお好みで)
⑦盛り付けて完成!好みで粉チーズ、粗挽き胡椒、青のり等かけても美味しい!

篠原会長 11月の動静

11/5(火) 農協理事会(WEB)
11/6(水) JA広報対策委員会、基本農政対策委員会(東京)
11/7(木) 全中理事会(東京)
11/12(火) 中央会・ホクレン合同役員研修(福岡・熊本・宮崎・鹿児島)
11/19(火) 全農外部出資審査委員会、全農経営管理委員会(東京)
11/20(水) 農協法公布記念式典、北海道農協基本農政対策本部委員会、JA北海道大会
11/22(金) 食料安全保障の強化と持続可能な北海道農業に関する中央要請、JAグループ基本農政確立全国大会(東京)
11/23(土) 全農役員海外視察(シンガポール・マレーシア)

自宅の片付けをしていたら自分の小学校の卒業文集が出てきました。約半世紀も前の手作り感満載の文集で今まで引越しの度に処分しようかどうしようかと迷いながら今に至っています。今まで読み返すこともなかったのですが、ふと読んでみると恐ろしく先生に強制的に書かされたであろう「将来の私」というタイトルのものがあり、その通りになっている人がいて感心する一方、自分は捻くれた大人になってしまいその頃の自分に謝りたいと思いました。

さて、先月号と今月号の2回に分けて職員紹介を掲載致しました。素人のカメラマンなので上手には撮れてないかもしれませんが、組合員の皆様に職員の顔を更知って頂くきっかけになってもえればと思います。(H)

編集後記



今月の表紙



今月号の表紙は、10月20日に開催されたしほろ収穫祭での玉ねぎの袋詰め放題の様子です。少し肌寒い中ではありましたが、町内外から大勢の方が来場して下さいました。祭りの最後には行われた大抽選会では、ファイターズガールの方にも手伝って頂き、全部で90人を超える方に景品が当たりました。大盛況のうちに終わることが出来ました。

ユートピア しほろ No.635

■発行日/令和6年11月30日
■発行/士幌町農業協同組合
〒080-1219
河東郡士幌町
字士幌西2線159番地
■編集/組合員相談課
■題字/会長理事 篠原 末治 氏

2024.12 No.635

第22回 しほろ収穫祭

第22回を迎えたしほろ収穫祭(國井浩樹実行委員長)が、10月20日(日)土幌町農村運動公園を会場に開催され、町内外から多くの方が訪れ土幌の秋の味覚を堪能しました。

少し肌寒い秋空の下、午前10時の開会前からお目当てのブース前に長蛇の列が出来て、しほろ牛カッパステーキ、牛乳無料配布、じゃがいも・玉ねぎ詰め放題、ポテトチップス・土幌産農産物の即売会、しほろ味覚市(おしるこ・うどん・しほろ鍋)・青年部によるモツ煮、農民協議会による青空市、土幌高校の農畜産物・加工品の他、町内の商店などが店を連ね、販売開始から2時間ほどで販売物が完売するなど大いに賑わいました。

また、バトンやダンス、ファイターズガールのステージショーでは来場者の心を魅了し、続いて行われた規定重量と食べ終えた重量の差を競う、食べて重さピットンコゲーム(ポテトチップス・牛乳・しほろ牛では、ピットリ賞が飛び出すなど出場者の果敢なる挑戦に会場は歓声と笑いに包まれました。



実行委員長挨拶

主催者を代表して國井実行委員長から、会場まで足を運んでいただいた来場者及び開催にご協力をいただいた関係者への感謝の言葉が述べられた後、お待ちかねの大抽選会が始まり、しほろ牛やよつ葉製品詰め合わせなどの地場産品や協賛いただいた各企業よりご提供の景品を手に笑顔があふれ、大いに盛り上がり収穫祭が終了しました。



しほろ牛カッパステーキには開始1時間前から長蛇の列



じゃがいもの袋詰め放題



ポテトチップスとじゃがいも販売も大盛況



カッパステーキを焼くスタッフ



土幌町酪農振興協議会による牛乳の無料配布



食べて重さピットンコゲーム



しほろ収穫祭にて

女性部特製のおしるこを販売

J A土幌町女性部(吉田さず恵部長)では、10月20日(日)、土幌町農村運動公園にて開催された第22回しほろ収穫祭において、まかないいもだんごと土幌産小豆のあんこを使った女性部特製おしるこを販売しました。

今年は晴天ながらも風が強い天候でしたが、開始と同時にたくさんのお客さまが列をなし、毎年楽しみにしているんだ!というお客さまの声もお聞きすることができました。

女性部が前日から準備したおしるこは、約800食を大盛況のうちに完売することができました。



おいしくな〜れ!



お子さま連れにも食べていただきました



しほろ収穫祭に出店販売!

J A土幌町青年部(藤内智也部長)では、10月20日(日)に土幌町農村運動公園で開催された「第22回しほろ収穫祭」において、青年部役員が女性部特製のおしるこ販売の手伝いのほかに出店を行い、今年度は「モツ煮」を販売しました。

当日は収穫祭の風物詩ともいえる秋の風を感じる風のなか、好天に恵まれた会場にはたくさんのお客様が訪れました。モツ煮には青年部員から提供された食材がふんだんに使用されており、ぐつぐつと煮込まれたモツ煮から漂う美味しい匂いがあたりを包み込んでいました。冷えた体にと多くの方からお買い求めがあり、用意していた数量は瞬く間に完売し、祭りを盛り上げることが出来ました。



たくさんのお客様に購入いただきました



令和6年度 北海道枝肉共励会開催 交雑牛の部で(有)緑陽肉用牛牧場、 乳用雄肥育牛の部で(株)西上肉用牛牧場が最優秀賞を受賞

10月19日(土)、農林水産祭参加行事である北海道枝肉共励会(ホクレン農業協同組合連合会主催)が(株)北海道畜産公社十勝工場において開催され、全道より交雑牛の部に61頭(町内より16頭)、乳用雄肥育牛の部に40頭(町内より14頭)の合計101頭(町内より30頭)が出品されました。

審査委員長に公益社団法人日本食肉格付協会 北海道支所長 宝谷 浩氏を迎えて厳正な審査が行われ、全道各地から集まった高品質な枝肉の中、交雑牛の部で(有)緑陽肉用牛牧場(奥秋和博氏)、乳用雄肥育牛の部で(株)西上肉用牛牧場(佐藤洋佑氏)が最優秀賞受賞の栄誉に輝きました。

また、乳用雄肥育牛の部において力石和彦氏が優秀賞1席、(有)新上肉用牛牧場(三浦隆氏)が優良賞、交雑牛の部では(株)十勝緑陽牧場(奥秋和博氏)が優秀賞3席を受賞されるなど、本町の肥育農家の皆様の日頃の努力が遺憾なく発揮された結果となりました。



(有)緑陽肉用牛牧場(奥秋和博氏)



(株)西上肉用牛牧場(佐藤洋佑氏)

士幌町酪農振興協議会 家族交流会 懇親を深め情報交換

士幌町酪農振興協議会(宇佐見庸夫会長)は、11月8日(金)農協2階ホールにて会員同士の情報交換や、家族・従業員の親睦を深める場として家族交流会を開催致しました。

開会に先立ち、9月28～29日に開催された2024北海道ホルスタインナショナルショウにおいて優秀な成績を収められた(有)竹腰牧場と山岸剛氏(詳しくは先月号の2ページをご覧ください)に記念品が贈られました。その後、宇佐見会長から「お忙しい中、このように大勢の方に出席頂きまして誠にありがとうございます。令和6年度も半年が過ぎましたが、全道が目指している403万トンの乳量を各生産者、町内、十勝、全道が一丸となってご努力頂いていることに感謝申し上げます。また、このような町内の酪農家、獣医師、畜産課の皆さんが一堂に集まる機会はあまりないので、今日は有意義な懇談の場として頂きたいと思います。」と挨拶され、続いて久保常務、よつ葉乳業 井出常務取締役十勝主管工場長よりご挨拶をいただき、士幌町肉牛振興会鎌田佳尚会長による乾杯のご発声で交流会へと入りました。

交流会では、焼きたてのしほろ牛カットステーキや、よつ葉のヨーグルトやアイスクリーム、オードブル、大人気のインディアンカレーなども提供され、おいしい料理を囲みながら、互いの近況や情報交換を行い、会話が尽きることなく、大いに盛り上がりおりました。結びは、桑原副会長の閉会挨拶で盛会のうちに終了しました。



肉牛振興会鎌田会長による乾杯



宇佐見会長の挨拶



大盛り上がりの会場

とかち農業・絆プロジェクトを実施 青年部員が農家実習の受け入れを行う！

十勝地区農協青年部協議会(平一真会長)では、10月12、13日に「とかち農業・絆プロジェクト」を実施し、JA士幌町青年部では森本絢哉氏が実習生の受け入れを行いました。

当事業は十勝管内の農協青年部員が北海道大学の学生との交流を通じて十勝や農業の応援団を作ることを目的とし、1泊2日の農業体験の受け入れを行っており、今年は22人の北大生が参加し、そのうち2名の学生が(有)文化森本農場で実習を行いました。

当日は農協連ビル(帯広)にて参加学生と受け入れを行う部員が一堂に会して入村式を行った後、それぞれの受け入れ先へ移動し実習を開始しました。2名の学生は初日にビートの収穫、2日目には大豆の収穫を体験しました。参加した学生達は普段の生活とは違った環境に身を置いて農業体験を行い、農業の魅力や農畜産物を生産する苦労など多くの学びを得て、2日間の実習は無事終了しました。

12月には北海道大学講堂内にて今回参加した学生・盟友による事後交流会が開催される予定です。



2日間お疲れ様でした



入村式の様子



ビートの縁堀

農薬空容器回収にご協力ありがとうございました

JA士幌町青年部(藤内智也部長)では、11月11日(月)に事業計画に基づき、今年度第2回目の農薬空容器回収を行いました。

組合員皆様方のご協力のもと農薬空容器回収が出来ましたことに感謝申し上げます。引き続き空容器の洗浄・乾燥、表示義務となっている「産業廃棄物収集運搬車」の表示をして頂き、本活動のご理解とご協力をお願い申し上げます。



回収作業の様子



作業に従事した青年部員

今年は概ね農作業がスムーズに進んできましたが、これから本格的な冬に向かって益々寒くなりますので、体調管理には十分にご留意頂き、残りの作業も事故なく無事終わられることをお祈り申し上げます。



ビート収穫



上野塚農場

大豆収穫



矢野裕司農場

長芋収穫



飯沼実農場

ビート受入無碍



10月29日(火)農協2階ホールにて「東野ひでき氏を励ます会」が開催され、350名を超える方の参加がありました。

東野ひでき氏は、現在JA道北なよろ会長理事・ホクレン農業協同組合連合会代表監事であり、全国農業者農政運動組織連盟の顧問に就任され、北海道及び全国の農業者の代表として現場の意見を農政へ反映していく決意のもと、来年夏に行われる参議院選挙のJAグループ組織内候補として全国各地のJAを巡回しており、このたび、当JAを来訪されました。

國井浩樹組合長、十勝地区農業協同組合長会太田副組合長の挨拶、ホクレン篠原会長の挨拶、協同組合連合会篠原末治会長からそれぞれ激励の挨拶が述べられ、続いて、東野ひでき氏から決意表明があり、締めは青年部 藤内智也部長の発声により「ガンバロウ！三唱が行われました。



決意表明を述べる東野氏



ホクレン篠原会長の挨拶



十勝地区農業協同組合長会太田副組合長の挨拶



國井組合長の挨拶



一致団結して「ガンバロウ！」三唱



東野ひでき氏を励ます会

JA 士幌町高原牧場 ジェネティクス北海道 黒毛和種枝肉共励会 優秀賞を受賞

10月5日(土)、第21回ジェネティクス北海道黒毛和種枝肉共励会が開催され、JA士幌町高原牧場から出品された黒毛和種が後代検定牛の部で優秀賞を受賞し、10月29日(火)にJA士幌町本部事務所に表彰されました。

出品された黒毛和種は脂の質や光沢、きめ細やかな肉質が高く評価され、日頃の肥育に対する努力が発揮された結果となりました。

当日は一般社団法人ジェネティクス北海道(篠原末治理事長)十勝北見事業所の間木野所長が来所され、賞状などが贈られました。



左から間木野所長、國井組合長



日本農業新聞 電子版が

アプリでさらに便利に!

日本農業新聞ニュースアプリ

最新の記事はトップに大きく掲載されます。読み込み速度も速く読みたい記事にすぐアクセスできます。

その日の記事をすぐにチェック

速報などをプッシュ通知でお知らせします。

カテゴリ記事に簡単アクセス

カテゴリメニューがスワイプで簡単に選択できます。長押し+スライドで読みたい順に並び替えもできます。

動画で操作方法など説明

アプリへのログイン方法や特長など、詳しい説明をご覧ください。

アプリをダウンロードする

日本農業新聞公式ウェブサイトからダウンロードにお進みいただけます。

お問い合わせ

日本農業新聞 電子版事務局 dkanri@agrnews.co.jp

※ アプリのダウンロードには「Apple ID」または「Googleアカウント」が必要となります。

※ App StoreはApple Inc.のサービスマークです。

※ AndroidはGoogle Inc.の登録商標です。

ダウンロードキャンペーン

電子版創刊3周年

2024年11月1日(金)~12月20日(金)

抽選で1名様当たり1,000円分をプレゼント

Amazonギフトカード300名様

応募対象者 12月20日(金)までにアプリをダウンロードした方。全員。 ※11月1日より前にダウンロードされた方も含む。 ※会員種別は問いません。

募集方法 キャンペーン期間中に複数回プッシュ通知を行います。その後、掲載される応募フォームに氏名・メールアドレス等をご記入ください。

お問合せ 日本農業新聞 電子版事務局 dkanri@agrnews.co.jp 東京都台東区秋葉原2-3 https://www.agrnews.co.jp/

